

令和5年度 高松中学校グループ小中一貫教育構想

【学校教育目標】

自らきりひらく生徒

～主体性・社会性・継続性～

視点1

主体性	自分の考えを豊かに表現し、進んで活動する子	『活力』
社会性	自他を認め合い、思いやる子	『人間関係力』
継続性	自分の将来に向かって、ねばり強く取り組む子	『夢』

実現のための三つの柱

『活力』を高める

○あいさつの充実

- ・各校のあいさつ運動
- ・月1回第4木曜日を『あいさつの日』に設定
中学校が小学校へ出向いてあいさつを実施

○主体的な学びの充実

- ・ICTの活用
- ・学習課題の吟味
- ・学年に応じた「聞く・話す」の指導
- ・板書の整理

○子ども主体の行事

- ・生徒がつくる行事
体育祭・運動会
修学旅行
ペア活動（小）

視点3

視点2

『人間関係力』を身につける

○SST（ソーシャルスキルトレーニング）
【軸となる取組】

- ・年間5回SSTの実施
- ・共同の研修会の実施
- ・ICTを使った交流
- ・小中・小小の交流
部活動体験
あいさつの日

○道徳の充実

- ・重点指導項目の実施

○外部人材の活用

- ・ゲストティーチャーや民間の専門家の活用

視点3

視点4

『夢』を持つ

○「夢シリーズ」

- ・外部人材を様々な場面で活用し、本物に触れる機会の設定

○キャリア教育の充実

- ・職場体験学習
- ・社会科見学
- ・総合での地域学習

○探求的な学び

- ・総合的な学習の時間の充実
- ・しずおか学
「歴史・文化」
米作り体験（中）
登呂学習（中）

視点4

視点4

◎知・徳・体のバランスのとれた全人的な教育に基づく指導 ◎新型コロナの影響によるスキル低下に対応した指導

◎新学習指導要領に基づいた、資質・能力を育む指導

